



第1章 植物

真柴 茂彦

今井 勉

佐伯の自然Ⅱ 帰化植物

植物班

真柴茂彦 今井 勉

はじめに

ここ数年外国からの植物の流入が問題になっている。特に特定有害外来生物の中の植物は、ひとたび生えてくると大繁殖して日本に古くから生えている既存の同じ科の植物を絶滅に追いやるようとしている。

佐伯市でもオオキンケイギクが路傍に、河川ではオオフサモ、ボタンウキクサ（ウォーターレタス）などが記録されている。

オオキンケイギクは花が美しいので有害植物に指定される前には佐伯の陸上競技場の道路側斜面に植えられて一面黄色い花を咲かせていた。ところが、オオキンケイギクは宿根で地上部が冬に枯れても根茎は残り、春には一斉に芽を出し、さらに株分けして増える。都会では問題になり特定有害外来植物に指定された。番匠川の大橋付近では土手下に現在みられるが、大繁殖には至っていない。

たとえば、外来種のオオイヌノフグリは路傍だけでなく、畑や空き地などにも侵入して、日本の路傍に普通に在ったイヌノフグリをほとんど見かけない珍しい植物にしてしまった。また、セイヨウタンポポ、アカミタンポポは佐伯の道端に普通に見られるようになり、最近の子どもたちはタンポポが黄色と思っている。私たちが子どものころにはタンポポといえば白い花だと思っていたのがシロバナタンポポである。黄色のカンサイタンポポは本州に多く、大分県では貴重種でなかなかお目にかかれなかった。佐伯市ではその珍しいカンサイタンポポがわずかに見られた。今では自然に土手で殖えている。

また、シマスズメノヒエやタチスズメノヒエ、アメリカスズメノヒエなどの外来植物が路傍や土手にも多い。日本に古くからあったスズメノヒエはめったにみられない草になってしまった。

近年佐伯市に侵入してきたタチスズメノヒエの大繁殖は驚くものがある。十年ほど前、宮崎県側の北川の海岸で初めて見た。ところが2～3年で佐伯の路傍に見られるようになった。最初は明神様前の鉄道の付近だった。すぐに佐伯では普通の植物になり、いまでは路傍や空き地を占拠している。

どうしてこんなに急速に増えるのか、風に運ばれるほど種子は軽くないので小鳥が食べて不消化のまま糞に混じり散布されるとしか考えられない。

1 史前帰化植物

外国から日本にやってきた植物を前川文夫（元東大教授）は次のように分けている。
もともと日本列島になく、いつの時代か外国から来た植物の内、ずいぶん古い時代に入ってきたと考えられるものをいう。たとえば、日本人が稲作を始めたころ、稲とともにやってきた水田やその付近で見られる植物や、麦や雑穀とともに来て畑の周辺でみられるものを史前帰化植物とよんだ。3000年ほど、それ以上前に日本に来た植物である。

その中で佐伯市において見られるものを上げると次のようなものがある。

稲とともにやってきた植物

イヌタデ、ポンドクタデ、イシミカワ、アキノウナギツカミ、ミチヤナギ、イヌビユ、ザクロソウ、ツルナ、クサネム、タヌキマメ、メドハギ、ヤハズソウ、エノキグサ、ニシキソウ、コミカンソウ、ヒメミカンソウ、ミズキンバイ、チョウジタデ、イヌホオズキ、スズメノトウガラシ、アゼナ、アゼトウガラシ、ウリクサ、キクモ、ムシクサ、ヨモギ、トキンソウ、タウコギ、タカサブロウ、アキノノゲシ、オナモミ、コメナモミ、カズノコグサ、キョウギシバ、イヌビエ、オヒシバ、カゼクサ、ニワホコリ、チガヤ、ヌカキビ、チカラシバ、イタチガヤ、ハイヌメリ、エノコログサ、キンエノコロ、メヒシバ、アキメヒシバ、ハタガヤ、アオスゲ、クダマヤツリ、タマガヤツリ、ミズハナビ、コゴメガヤツリ、ハマスゲ、テンツキ、ヒデリコ、アゼテンツキ、マツバイ、ヒンジガヤツリ、カワラスガナ、ホシクサ、イボクサ、イグサ、コウガイゼキショウ

麦とともにやってきた植物

サナエタデ、コアカザ、ミミナグサ、ノミノツヅリ、ハコベ、ウシハコベ、スベリヒユ、ナズナ、タガラシ、タネツケバナ、ミチバタガラシ、グンバイナズナ、ミヤコグサ、カタバミ、チドメグサ、キュウリグサ、サギゴケ、オオバコ、ヤエムグサ、ハハコグサ、キツネアザミ、ハルノノゲシ、ジシバリ、ノニガナ、スズメノチャヒキ、ヌカボ、スズメノテッポウ、カラスムギ、スズメノカタビラ、カモジグサ、ツユクサなどである。

こうしてみると私たちの生活の中で関わり、普通に周囲で目にする植物の大半がこの史前帰化植物に入ってしまう。

これ以外の史前帰化植物としてヒガンバナ、ツルボ、コモチマンネングサ、ヤブカンゾウ、シヤガ、ミツマタ、カジノキ、フジバカマなどを挙げている。（前川文夫 1978 世界の植物）

現在、帰化植物とよばれているものの定義もいろいろあるが、明治以後という説、江戸時代末期、鎖国が解けてからというものなどである。

この外来種で日本の自然に入りこんで生活している帰化植物は、昭和の初めころには150種といわれ、1970年代には800種、現在は1000種をはるかに超えている。

史前帰化植物



ヒメカンソウ



ウリクサ



イシミカワ



アキノウナギツカミ



メナモミ



ムラサキサギゴケ



コゴメガヤツリ



イヌガラシ



チョウジタデ



アキノノゲン



ミチヤナギ



コミカンソウ



ナズナ



イヌタデ



イヌビエ



チカラシバ



スズメノテッポウ

史前帰化植物は、田畑の作物の生活史とうまく適応して、発芽から種子の形成を作物の植え付けから収穫までに終えている。

例えば、田や畔に普通にみられるスズメノトウガラシやカズノコグサは田んぼの中や畔道で稲とともに芽生える。あるいは、土の中に眠っていた種子が田植えとともに芽を出す。その後、稲とともに大きくなり、刈り取られる頃には種子の成熟を終えている。これらの植物は、東南アジアの水田地帯と共通の種類であり、稲とともに日本に来たと考えられている。

特別有害帰化生物の中の植物

帰化植物の中で分布の速度が速く急速に広がり、個体数の多い帰化植物の中で在来の日本の植物と生活圏が重なり、日本の植物の生存に影響を与えるものが特別有害植物に指定された。

この植物は植えることはもとより、見つけたら取り除かなければならない種類である。

オオキンケイギク	キク科	番匠	ミズヒマワリ	キク科
オオハンゴンソウ	キク科		ナルトサワギク	キク科
オオカワジシャ	ゴマノハクサ科	番匠		
ナガエツルノゲイトウ	ヒユ科		ブラジルチドメグサ	セリ科
アレチウリ	ウリ科			
オオフサモ	アリノトウグサ科	弥生山梨		
ボタンウキクサ	サトイモ科	番匠川		
スパルティナ	アングリカ	イネ科	ヨシのように塩水に適応	
アゾラ	クリスタータ	アメリカオオアカウキクサ		

以上のような植物があげられているがこの中で佐伯に入っているものは番匠橋や運動公園のあたりにみられるオオキンケイギク、庭などに植えられているオオハンゴンソウ、番匠橋の上流で一度見かけたオオカワジシャ、番匠川中流のオオフサモ、ボタンウキクサなどである。これまで話題になってきたのはオオキンケイギク、オオフサモ、ボタンウキクサなどであるが、オオキンケイギクは佐伯一大分間の高速道路沿いに多い。オオフサモやボタンウキクサは時に多く発生しても番匠川は流れが速いので大発生には至らない。県内では日田の三隈川の支流でブラジルチドメグサの大発生があった。湯布院の川岸のミズヒマワリも知られている。



ボタンウキクサ



オオキンケイギク

2 帰化植物の生活場所

私たちの周囲の森や草原の中では帰化植物はなかなか見かけない。多いところはやはり私たちの生活の周囲で、特に自然の破壊された場所を好んで生えている。日当たりの良い道端や空き地、荒地、造成地、河川、土手などである。

以前、くじゅうの草原を調査したことがあった。坊がつるの草原でキャンプファイヤーの跡の炭の混じった円形の裸地にヒロハギシギシが繁っていた。周囲はツクシミノボロスゲやヒメスゲがあり、さらにスタレヨシの群落が続いていた。

ヒロハギシギシはエゾノギシギシとも呼ばれ欧州、アジアの原産で北海道、サハリンなどで最初に見つかっている。たき火によって草原の草の無くなったところに侵入したもので、周りほとんど日本の草原の固有植物であった。

草原は日当たりもよく帰化植物が紛れ込んでもおかしくない、しかし、既存の群落がしっかりした草原ではネザサもススキの中のように帰化植物は見られない。くじゅうで多いのは道路沿いである。セイヨウタンポポやブタナなどがよく目につく。佐伯では調査地1のスタジイの社叢であるが、21種の植物の中に帰化植物は入っていない。

日本の植物群落のしっかりした所では帰化植物は種子が落ちても発芽しないようである。

ではどのような所に、どんなものが、どのくらいあるのか、調査をしてみることにした。

その他の史前帰化植物



ツルボ



ヤブカンゾウ



ミツマタ



シャガ

よく見かける帰化植物



オオアレチノギク



ヒルザキツキミソウ



キキョウソウ



オランダフウロ

3 植物調査

調査では、佐伯市に見られる帰化植物（外来植物・園芸植物の逸失も含む）について調査をして、侵入実態を把握したいと考えた。

調査は、佐伯市全域を対象に帰化植物の普通にみられる路傍、空き地、田畑、土手を中心に調べた。

調査の方法

調査は、路傍、空き地、田畑、土手に1～5mの方形区を設定して、そこに見られる植物の全種類を記録して、その中に帰化植物がどのくらいの割合で出現するか調べた。

調査地の形状により方形区は適宜変形した。たとえば、細い路傍では1×4mとした。これに日当たりや土湿、風当りを記入した。調査面積は背の低い植物では2×2m、高い植物では5×5mとした。面積内でそのあたりの植物の種類がほとんど把握できるようにして全部の種を記録した。

主な調査は平成24年から26年の3年間でおこなって72の調査地点を得た。

帰化植物調査

NO	調査日	地域	場所	優占植物名	調査面積	環境	種数	帰化数
1	24・8・5	大入島	林	スタジイ	10×20	陽強適	21	0
2	24・9・1	宇目千束	路傍	チガヤ	1×2	陽強やや乾	12	1
3	24・9・1	宇目千束	路傍	カラムシ	1×2	陽強適	9	0
4	24・9・1	宇目千束	田	コナギ	0.5×2	陽中湿	11	1
5	24・9・1	宇目千束	畦道	ミジソバ	1×1	陽中湿	13	1
6	24・10・5	弥生切畑	路傍	メヒシバ	1.5×2	陽強適	11	3
7	24・10・5	直川千股	路傍	カラムシ	2×2	陽中適	11	0
8	24・10・5	直川千股	畦道	ニワホコリ	2×3	陽中適	10	2
9	24・10・5	直川千股	荒地	オヒシバ	2×2	陽中適	19	5
10	24・10・5	本匠風戸	山道	カラムシ	1×4	陽中適	16	3
11	24・10・5	弥生井崎	荒地	キンエノコロ	2×2	陽強適	17	6
12	24・10・5	弥生井崎	休耕田	アキノエノコロ	5×5	陽強やや湿	20	5
13	24・10・7	直川大津留	路傍	ウシハコベ	1×1	陽中適	11	2
14	24・10・7	宇目三国峠	路傍	スギナ	2×2	中中適	18	2
15	24・10・7	本匠檜峰	山道	ススキ	1×2	陽中適	16	1

16	24・10・24	本匠檜峰	路傍	タチスズメノヒエ	1×2	陽中やや湿	17	5
17	24・8・5	大入島石間	荒地	コセンダングサ	2×2	陽強やや乾	11	6
18	24・8・5	大入島石間	荒地	コセンダングサ	2×2	陽強やや乾	7	3
19	24・8・5	大入島日向泊	畑	ニシキソウ	1×2	陽強適	12	3
20	24・8・5	大入島日向泊	荒地	コマツヨイグサ	2×2	陽強適	11	5
21	25・6・25	蒲江屋形島	砂浜	ハマゴウ	5×5	陽強やや乾	9	1
22	25・6・25	蒲江屋形島	砂浜	ハマゴウ	5×5	陽強乾	7	1
23	25・6・25	蒲江屋形島	砂浜	ハマボウフウ	5×5	陽強乾	4	0
24	25・6・25	蒲江屋形島	砂浜	ハマゴウ	5×5	陽強乾	6	1
25	25・6・25	蒲江屋形島	砂浜	ハマゴウ	5×5	陽強乾	4	1
26	25・6・25	蒲江屋形島	砂浜	ハマゴウ	2×2	陽強乾	8	4
27	25・6・25	蒲江屋形島	砂浜	コウボウムギ	5×5	陽強乾	7	1
28	25・6・25	蒲江屋形島	砂浜	ヤブジラミ	5×5	陽強乾	8	1
29	25・11・24	佐伯檜野	河川敷	オギ	2×2	陽中適	15	5
30	25・11・24	佐伯檜野	河川敷	カゼクサ	2×2	陽中適	15	1
31	25・11・24	佐伯檜野	河川敷	オギ	3×3	陽中やや乾	12	2
32	25・8・23	佐伯長瀬	空き地	メヒシバ	2×2	陽中適	9	1
33	25・8・23	佐伯長瀬	空き地	オオクワモド	2×2	陽中適	7	2
34	25・8・23	佐伯長瀬	田	ミズユキノシタ	1×2	陽中湿	4	1
35	25・8・25	佐伯高島	路傍	エノコログサ	5×5	陽中適	17	4
36	25・8・25	佐伯高島	水路	マコモ	1×2	陽中湿	4	0
37	25・8・24	米水津浦代	路傍	カタバミ	2×2	陽中適	11	1
38	25・8・24	米水津浦代	空き地	コセンダングサ	1×4	陽中適	8	3
39	25・9・9	佐伯青山	空き地	カヤツリグサ	2×2	陽中適	11	1
40	25・9・9	佐伯青山	空き地	オオニシキソウ	2×2	陽強適	7	3
41	25・9・20	佐伯西浜	砂浜	キンエノコロ	2×2	陽強適	7	3
42	25・9・20	佐伯西浜	砂浜	オカヒジキ	2×2	陽中適	6	1
43	25・9・25	米水津色利	路傍	コセンダングサ	1×5	陽中適	11	4
44	25・9・25	米水津宮野浦	荒地	セイタカアワダソウ	2×2	陽強適	11	4
45	25・9・25	米水津宮野浦	荒地	ススキ	5×5	陽強適	12	6
46	25・9・25	米水津宮野浦	海岸荒	ヨモギ	2×2	陽強適	10	3
47	25・9・25	米水津色利	空き地	メリケンカルカヤ	5×5	陽強適	15	7
48	26・4・15	佐伯青山	路傍	ノミノツヅリ	1×2	陽強適	8	1
49	26・4・15	佐伯青山	路傍	オランダミミナグサ	1×2	陽強適	13	4
50	26・4・15	佐伯青山	畦道	ハハコグサ	0.5×4	陽強適	15	2

51	26・4・15	佐伯青山	路傍	ヨモギ	2×2	陽強適	19	3
52	26・5・24	蒲江葛原	路傍	カモジグサ	1×4	陽強乾	9	2
53	26・5・24	蒲江葛原	路傍	カモジグサ	1×4	陽強乾	9	2
54	26・5・24	蒲江丸市尾	石浜	スズメノチャヒキ	2×2	陽強やや乾	7	4
55	26・5・24	蒲江丸市尾	石浜	スズメノチャヒキ	2×2	陽強乾	12	3
56	26・5・24	蒲江丸市尾	路傍	カモジグサ	2×2	陽強適	9	2
57	26・5・24	蒲江丸市尾	砂浜	チガヤ	2×2	陽強乾	4	1
58	26・5・25	本匠番の原	山道	トウバナ	0.5×4	中陰弱適	9	0
59	26・8・30	大入島高松	路傍	マルバツユアク	2×2	陽強適	11	4
60	26・8・30	大入島高松	路傍	コセンダングサ	2×2	陽強適	10	4
61	26・8・30	大入島高松	畑	マルバツユアク	2×2	陽強適	15	4
62	26・8・30	大入島高松	路傍	ヨモギ	2×4	陽強適	22	7
63	26・8・30	大入島高松	路傍	マルバツユアク	2×4	陽中適	9	2
64	26・8・30	大入島久保浦	空き地	チガヤ	2×2	陽中やや乾	10	2
65	26・8・30	大入島久保浦	路傍	チガヤ	1×4	陽強やや乾	10	4
66	26・8・30	大入島久保浦	空き地	チガヤ	2×2	陽強適	16	1
67	26・8・30	大入島久保浦	路傍	カラムシ	3×4	陽中適	9	3
68	26・8・30	大入島石間	空き地	ヤハズソウ	2×2	陽強適	15	0
69	26・8・30	大入島石間	山道	ジャノヒゲ	2×2	陽強適	12	2
70	26・8・30	大入島石間	路傍	ヨモギ	1×4	陽強やや乾	15	2
71	26・8・30	大入島石間	路傍	オシロイバナ	2×4	陽強適	16	4
72	26・8・30	鶴見島江	路傍	コセンダングサ	1×2	陽中適	11	4

72の調査地を1覧表にしたのが上の表である。これを方形区ごとに帰化植物の数を方形区内の全種数で割り、帰化率を出した。

帰化植物の種の選定は江戸末期以降に我が国に入ってきた種で帰化植物図鑑に記載されているものである。それに花壇や畑、庭から逸失した園芸品種も含めた。

これを場所ごとにまとめて平均値を出したのが下の表である。%が高いほど帰化植物が多いことを示す。もっとも高いのは荒地の39%、次いで礫浜の36%である。空き地では18%もあった。帰化植物が侵入してないのは、林や水路で0%であった。30%を超せば種類の3本に1本は帰化植物ということである。

佐伯市の帰化率 (%)

場 所	川敷	路傍	空き地	荒地	畑	田	畔道	水路	礫浜	砂浜	山道	林
帰化率	19	23	18	39	23	20	13	0	36	23	11	0
調査数	3	25	9	8	3	3	3	1	2	10	4	1

調査地の帰化植物

セイタカアワダチソウ、ヒメジョオン、オオアレチノギク、ヒメムカシヨモギ、アメリカセンダングサ、オオキンケイギク、アカミタンポポ、オオオナモミ、クワモドキ、アレチハナガサ、マツバギク、キンゴジカ、ホナガイヌビユ、アメリカフウロ、テリミノイヌホウズキ、オランダミミナグサ、オッタチカタバミ、オオマツヨイグサ、アレチマツヨイグサ、ホシアサガオ、ホソバヒメミソハギ、オオイヌタデ、ニワゼキショウ、スズメノチャヒキ、シマスズメノヒエ、タチスズメノヒエ、オニウシノケグサ、メリケンカルカヤ、コスズメガヤ、トウネズミモチ、トキワツユクサ

花壇や庭から逸失したもの マツバボタン、ガザニア、マリーゴールド、アサガオ、キヌガサギク、ジュズダマ、オシロイバナ、ナンキンハゼ等

帰化植物には限られた場所に或るとき多量に発生して数年もたたずに消滅するものも少なくない。たとえば、土手のメリケングラやヒメスイバなどである。今回の調査に出てきた帰化植物の多くは広い範囲に分布し、個体数も多いもので、日本の風土にほぼ適応できているものである。

3 世界中の草花がみられる

現在、物流の多様化と頻度の増加により、多くの生物の種類が世界から日本に入りこんでいる。昭和の初めには150種ほどであったものが1500種になろうとしている。

すでに、庭や街路の花壇を飾る花は世界で同じようなものがみられるようになってきているが、路傍の草も世界のものを見ることができるようになってきた。一覧表を参考に幾つか挙げてみよう。

中国	シャガ、ショカツサイ、ツルドクダミ
中央アジア	ホルトソウ
北アメリカ	ニワゼキショウ、ヒメジョオン、メリケンカルカヤ、メマツヨイグサ、ヨウシュヤマゴボウ、セイタカアワダチソウ
南アメリカ	オオカナダモ、タチスズメノヒエ、ノゲイトウ、アレチハナガサ、ヤノネボンテンカ
熱帯アメリカ	ハゼラン、コセンダングサ
ヨーロッパ	シロツメクサ、ムラサキカタバミ、アレチギシギシ、オランダミミナグサ、ヘラオオバコ、ノボロギク
地中海	コバンソウ、ヒメコバンソウ、セイバンモロコシ
アフリカ	ナガエコミカンソウ、シナダレスズメガヤ
汎世界	ボタンウキクサ

付近の散歩に世界の植物散策などはどうだろう。

佐伯市帰化植物目録

NO	和名	科名	学名	場所	感	原産地
1	ポタンウキクサ	サトイモ科	<i>Pistia stratiotes</i>	河沼	普通	汎世界熱帯
2	ミジンコウキクサ	ウキクサ科	<i>Wolffia arrhiza</i>	河沼	普通	東南アジア
3	オオカナダモ	トチカガミ科	<i>Egeria densa</i>	河沼溝	普通	南アメリカ
4	コカナダモ	トチカガミ科	<i>Elodea nuttallii</i>	河沼	少	北アメリカ
5	タカサゴユリ	ユリ科	<i>Lilium formosanum</i>	山野崖	普通	台湾
6	オニユリ	ユリ科	<i>Lilium lancifolium</i>	人家付近	小	中国
7	ヒメヒオウギズイセン	アヤメ科	<i>Tritonia crocosmaeflora</i>	山道載	普通	南アフリカ
8	シャガ	アヤメ科	<i>Iris japonica</i>	山林縁	多	中国
9	キショウブ	アヤメ科	<i>Iris pseudacorus</i>	河沼	普通	ユーラシア
10	アイイロニワゼキショウ	アヤメ科	<i>Sisyrinchium graminoides</i>	路傍上手	少	北アメリカ
11	オオニワゼキショウ	アヤメ科	<i>Sisyrinchium sp.</i>	路傍上手	普通	北アメリカ
12	ニワゼキショウ	アヤメ科	<i>Sisyrinchium atlanticum</i>	路傍上手	多	北アメリカ
13	ナツズイセン	ヒガンバナ科	<i>Lycoris squamigera</i>	畑	少	中国
14	サフランモドキ	ヒガンバナ科	<i>Zephyranthes grandiflora</i>	荒地	少	中央アメリカ
15	タマスダレ	ヒガンバナ科	<i>Zephyranthes candida</i>	庭畑	普通	ペルー
16	ハナニラ	ユリ科	<i>Brodiaea uniflora</i>	畑庭	普通	アルゼンチン
17	トキワツユクサ	ツユクサ科	<i>Tradescantia fluminensis</i>	路傍畑	普通	南アメリカ
18	ホテイアオイ	ミズアオイ科	<i>Eichhornia crassipes</i>	河沼	普通	アルゼンチン
19	メリケンガヤツリ	カヤツリグサ科	<i>Cyperus eragrostis</i>	河湿地	普通	北アメリカ
20	シチトウイ	カヤツリグサ科	<i>Cyperus malaccensis</i>	田湿地	少	中国
21	コバンソウ	イネ科	<i>Briza maxima</i>	人里荒	少	地中海
22	ヒメコバンソウ	イネ科	<i>Briza minor</i>	人里荒	多	地中海
23	イヌムギ	イネ科	<i>Bromus catharticus</i>	路傍	普通	南アメリカ
24	ジュズダマ	イネ科	<i>Coix lacryma-jobi</i>	田湿地	普通	熱帯アジア
25	メリケンカルカヤ	イネ科	<i>Cymbopogon tortillis</i>	草原上手	多	北アメリカ
26	カモガヤ	イネ科	<i>Dactylis glomerata</i>	草地路傍	普通	ユーラシア
27	シナダレスズメガヤ	イネ科	<i>Eragrostis curvula</i>	草原上手	多	南アフリカ
28	オニウシノケグサ	イネ科	<i>Festuca arundinacea</i>	路傍上手	普通	ヨーロッパ
29	ネズミムギ	イネ科	<i>Lolium multiflorum</i>	路傍上手	普通	ヨーロッパ
30	ホソムギ	イネ科	<i>Lolium perenne</i>	路傍上手	普通	ヨーロッパ
31	ボウムギ	イネ科	<i>Lolium rigidum ssp. lepturoides</i>	海岸	普通	地中海
32	シマスズメノヒエ	イネ科	<i>Paspalum dilatatum</i>	路傍	普通	南アメリカ

33	タチスズメノヒエ	イネ科	<i>Paspalum urvillei</i>	路傍	多	南アメリカ
34	セイバンモロコシ	イネ科	<i>Sorghum halepense</i>	路傍	普通	地中海
35	ナギナタガヤ	イネ科	<i>Vulpia myuros</i>	山道	普通	ヨーロッパ
36	コウライシバ	イネ科	<i>Zoysia tenuifolia</i>	グランド	普通	東南アジア
37	ホウライチク	イネ科	<i>Bambusa multiplex</i>	山野	普通	中国
38	ハチク	イネ科	<i>Phyllostachys nigra</i> var. <i>henonis</i>	山	普通	中国
39	モウソウチク	イネ科	<i>Phyllostachys pubescens</i>	山	普通	中国
40	オカメザサ	イネ科	<i>Shibataea kumasasa</i>	人里	普通	不明
41	トウチク	イネ科	<i>Sinobambusa tootsik</i>	人里	少	中国
42	ナンテン	ムギ科	<i>Nandina domestica</i>	山人里	普通	中国
43	シュウメイギク	キンポウゲ科	<i>Anemone hupehensis</i> var. <i>japonica</i>	林縁	普通	中国
44	メキシコマンネングサ	ベンケイソウ科	<i>Sedum mexicanum</i>	路傍	普通	メキシコ
45	ツルマンネングサ	ベンケイソウ科	<i>Sedum sarmentosum</i>	路傍	普通	中国
46	オオフサモ	アリノトウグサ科	<i>Myriophyllum brasiliense</i>	河沼	普通	南アメリカ
47	アメリカフウロ	フウロソウ科	<i>Gerranium carolinianum</i>	荒地畑	普通	北アメリカ
48	オオマツヨイグサ	アカバナ科	<i>Oenothera erythrosepala</i>	草原上手	普通	北アメリカ
49	マツヨイグサ	アカバナ科	<i>Oenothera stricta</i>	路傍	普通	南アメリカ
50	メマツヨイグサ	アカバナ科	<i>Oenothera biennis</i>	荒地	普通	北アメリカ
51	ユウゲショウ	アカバナ科	<i>Oenothera rosea</i>	路傍	少	北アメリカ
52	ヒルザキツキミソウ	アカバナ科	<i>Oenothera speciosa</i>	荒地	普通	北アメリカ
53	イタチハギ	マメ科	<i>Amorpha fruticosa</i>	上手	普通	北アメリカ
54	ゲンゲ	マメ科	<i>Astragalus sinicus</i>	田	普通	中国
55	トウコマツナギ	マメ科	<i>Indigofera bungeana</i>	上手路側	普通	中国
56	オランダミミナグサ	マメ科	<i>Lotus corniculatus</i>	路傍畑	多	ヨーロッパ
57	シナガワハギ	マメ科	subsp. <i>suaveolens</i>	上手畑	少	ユーラシア
58	シロバナシナガワハギ	マメ科	<i>Melilotus officinalis</i> ssp. <i>alba</i>	上手畑	少	アフリカ
59	ハリエンジュ	マメ科	<i>Robinia pseudoacacia</i>	山庭	普通	アメリカ
60	コメツツメクサ	マメ科	<i>Trifolium dubium</i>	路傍	普通	ユーラシア
61	ベニバナツメクサ	マメ科	<i>Trifolium incarnatum</i>	路傍	少	ユーラシア
62	ムラサキツメクサ	マメ科	<i>Trifolium pratense</i>	路傍	普通	ヨーロッパ
63	シロツメクサ	マメ科	<i>Trifolium repens</i>	路傍	多	ヨーロッパ
64	カスマグサ	マメ科	<i>Vicia tetrasperma</i>	路傍	普通	ユーラシア
65	モモ	バラ科	<i>Prunus persica</i>	山	少	中国
66	ビワ	バラ科	<i>Eriobotrya japonica</i>	山	普通	中国
67	カジノキ	クワ科	<i>Broussonetia papyrifera</i>	山	普通	中国

68	ナンバンカラムシ	イラクサ科	<i>Boehmeria nivea</i> var. <i>tenacissima</i>	草原	少	アジア
69	イモカタバミ	カタバミ科	<i>Oxalis articulata</i>	畑	普通	南アメリカ
70	ハナカタバミ	カタバミ科	<i>Oxalis bowiei</i>	路傍	普通	南アメリカ
71	ムラサキカタバミ	カタバミ科	<i>Oxalis corymbosa</i>	路傍畑	普通	ヨーロッパ
72	オッチチカタバミ	カタバミ科	<i>Oxalis stricta</i>	路傍畑	多	北アメリカ
73	キイロカタバミ	カタバミ科	<i>Oxalis pescaprae</i>	路傍畑	普通	南アメリカ
74	モンカタバミ	カタバミ科	<i>Oxalis tetraphylla</i>	路傍畑	少	メキシコ
75	フヨウカタバミ	カタバミ科	<i>Oxalis variabilis</i>	路傍畑	少	南アメリカ
76	コニシキソウ	トウダイグサ科	<i>Euphorbia supina</i>	路傍空き地	多	北中アメリカ
77	オオニシキソウ	トウダイグサ科	<i>Euphorbia maculata</i>	路傍	普通	北中アメリカ
78	ホルトソウ	トウダイグサ科	<i>Euphorbia lathyris</i>	海岸	少	中央アジア
79	ナンキンハゼ	トウダイグサ科	<i>Sapium sebiferum</i>	空き地	普通	中国
80	アブラギリ	トウダイグサ科	<i>Aleurites cordata</i>	山	普通	中国
81	シナアブラギリ	トウダイグサ科	<i>Aleurites fordii</i>	山	少	中国
82	ナガエコミカンソウ	トウダイグサ科	<i>Phyllanthus tenellus</i>	路傍	少	アフリカ
83	セイヨウアブラナ	アブラナ科	<i>Brassica napus</i>	畑	普通	ユーラシア
84	マメグンバイナズナ	アブラナ科	<i>Lepidium virginicum</i>	路傍	普通	北アメリカ
85	オランダガラシ	アブラナ科	<i>Nasturtium officinale</i>	河	普通	ヨーロッパ
86	ショカツサイ	アブラナ科	<i>Orychophragmus violaceus</i>	路傍庭	普通	中国
87	ハマダイコン	アブラナ科	<i>Raphanus sativus</i> var. <i>raphanistroides</i>	海岸	普通	中国
88	ヤノネボンテンカ	アオイ科	<i>Pavonia hastata</i>	荒地	少	南アメリカ
89	ホソバキンゴジカ	アオイ科	<i>Sida acuta</i>	路傍	普通	中央アメリカ
90	キンゴジカ	アオイ科	<i>Sida rhombifolia</i>	路傍	普通	東南アジア
91	アメリカキンゴジカ	アオイ科	<i>Sida spinosa</i>	路傍	少	熱帯アメリカ
92	ツルドクダミ	タデ科	<i>Pleuropterus multiflorus</i>	林縁	少	中国
93	ヒメツルソバ	タデ科	<i>Persicaria capitata</i>	路傍庭	普通	中国
94	ヒメスイバ	タデ科	<i>Rumex acetosella</i>	ドテ	ショウ	中国
95	オオケタデ	タデ科	<i>Persicaria pilosa</i>	荒地庭	少	ユーラシア
96	アレチギシギシ	タデ科	<i>Rumex conglomeratus</i>	路傍	普通	ヨーロッパ
97	エゾノギシギシ	タデ科	<i>Rumex obtusifolius</i>	路傍	普通	ヨーロッパ
98	オランダミミナグサ	ナデシコ科	<i>Cerastium glomeratum</i>	路傍畑	普通	ヨーロッパ
99	サボンソウ	ナデシコ科	<i>Saponaria officinalis</i>	路傍	少	ヨーロッパ
100	ムシトリナデシコ	ナデシコ科	<i>Silene armeria</i>	路傍	普通	ヨーロッパ
101	ホナガイヌビユ	ヒユ科	<i>Amaranthus viridis</i>	荒地畑	普通	南アメリカ
102	ノゲイトウ	ヒユ科	<i>Celosia argentea</i>	川原	普通	南アメリカ

103	ケアリタソウ	アカザ科	<i>Chenopodium ambrosioides</i> var. <i>pubescens</i>	荒地畑	普通	メキシコ
104	ホウキギ	アカザ科	<i>Kochia scoparia</i>	路傍	普通	ユーラシア
105	ハゼラン	スベリヒユ科	<i>Talinum crassifolium</i>	路傍	普通	熱帯アメリカ
106	ヨウシュヤマゴボウ	ヤマゴボウ科	<i>Phytolacca americana</i>	林縁	普通	北アメリカ
107	オシロイバナ	オシロイバナ科	<i>Mirabilis jalapa</i>	空き地	普通	南アメリカ
108	メリケンムグラ	アカネ科	<i>Diodia virginiana</i>	少	普通	北アメリカ
109	アメリカネナシカズラ	ヒルガオ科	<i>Cuscuta pentagona</i>	上手草地	普通	北アメリカ
110	アメリカアサガオ	ヒルガオ科	<i>Ipomoea hederacea</i>	路傍	普通	熱帯アメリカ
111	マメアサガオ	ヒルガオ科	<i>Ipomoea lacunosa</i>	路傍	普通	北アメリカ
112	ルコウソウ	ヒルガオ科	<i>Ipomoea quamoclit</i>	空き地	普通	熱帯アメリカ
113	モミジルコウ	ヒルガオ科	<i>Ipomoea sloteri</i>	空き地	普通	北アメリカ
114	ホシアサガオ	ヒルガオ科	<i>Ipomoea triloba</i>	路傍	普通	南アメリカ
115	キダチチョウセンアサガオ	ナス科	<i>Brugmansia suaveolens</i>	林縁畑	普通	南アメリカ
116	テリミノイソホオズキ	ナス科	<i>Solanum phoetainocarpum</i>	路傍	多	北アメリカ
117	キンギンナスビ	ナス科	<i>Solanum capsicoides</i>	海岸路傍	少	熱帯アメリカ
118	ワルナスビ	ナス科	<i>Solanum carolinense</i>	路傍	普通	北アメリカ
119	タマサンゴ	ナス科	<i>Solanum pseudo-capsicum</i>	荒地	普通	南アメリカ
120	ハリナスビ	ナス科	<i>Solanum sisymbriifolium</i>	空き地	少	南アメリカ
121	キバナウンラン	ゴマノハグサ科	<i>Linaria genistifolia</i>	路側帯	少	ヨーロッパ
122	ヘラオオバコ	オオバコ科	<i>Plantago lanceolata</i>	上手	普通	ヨーロッパ
123	ツボミオオバコ	オオバコ科	<i>Plantago virginica</i>	路傍上手	普通	北アメリカ
124	タチイヌノフグリ	ゴマノハグサ科	<i>Veronica arvensis</i>	路傍	普通	ユーラシア
125	フラサバソウ	ゴマノハグサ科	<i>Veronica hederifolia</i>	空き地	普通	ユーラシア
126	オオイヌノフグリ	ゴマノハグサ科	<i>Veronica persica</i>	路傍畑庭	多	ユーラシア
127	ビロードモウズイカ	ゴマノハグサ科	<i>Verbascum thapsus</i>	路傍	少	ヨーロッパ
128	アメリカアゼナゼ	ゴマノハグサ科	<i>Lindernia dubia</i>	人里田	普通	北アメリカ
129	ヒメオドリコソウ	シソ科	<i>Lamium purpureum</i>	草原	少	ヨーロッパ
130	オランダハッカ	シソ科	<i>Mentha spicata</i>	荒地	少	ヨーロッパ
131	マルバハッカ	シソ科	<i>Mentha rotundifolia</i>	荒地	少	ヨーロッパ
132	イセハナビ	キツネノマゴ科	<i>Strobilanthes japonicus</i>	山道	少	不明
133	ヤナギハナガサ	クマツツラ科	<i>Verbena bonariensis</i>	荒地	少	南アメリカ
134	アレチハナガサ	クマツツラ科	<i>Verbena brasiliensis</i>	荒地	多	南アメリカ
135	ヒナキキョウソウ	キキョウ科	<i>Specularia biflora</i>	空き地	普通	北アメリカ
136	ブタクサ	キク科	<i>Ambrosia artemisiifolia</i> var. <i>elatior</i>	草地上手	少	北アメリカ

137	オオブタクサ	キク科	<i>Ambrosia trifida</i>	河川上下	普通	北アメリカ
138	オオホウキギク	キク科	<i>Aster exilis</i>	河川湿地	普通	北アメリカ
139	コバノセンダングサ	キク科	<i>Bidens bipinnata</i>	路傍	少	熱帯アメリカ
140	アメリカセンダングサ	キク科	<i>Bidens frondosa</i>	沼溝	普通	北アメリカ
141	コセンダングサ	キク科	<i>Bidens pilosa</i>	路傍	多	熱帯アメリカ
142	アレチノギク	キク科	<i>Conyza bonariensis</i>	荒地低原	普通	南アメリカ
143	ヒメムカシヨモギ	キク科	<i>Erigeron canadensis</i>	路傍荒地	多	北アメリカ
144	オオアレチノギク	キク科	<i>Conyza sumatrensis</i>	路傍荒地	多	南アメリカ
145	オオキンケイギク	キク科	<i>Coreopsis lanceolata</i>	路傍	普通	北アメリカ
146	ハルシャギク	キク科	<i>Coreopsis tinctoria</i>	河川	普通	北アメリカ
147	コスモス	キク科	<i>Cosmos bipinnatus</i>	荒地	普通	メキシコ
148	キバナコスモス	キク科	<i>Cosmos sulphureus</i>	荒地	普通	メキシコ
149	ベニバナボロギク	キク科	<i>Crassocephalum crepidioides</i>	山道林縁	多	熱帯アメリカ
150	アメリカタカサブロウ	キク科	<i>Eclipta alba</i>	田畑	普通	北アメリカ
151	ダンドボロギク	キク科	<i>Erechtites hieracifolia</i>	山	普通	北アメリカ
152	ヒメジョオン	キク科	<i>Stenactis annuus</i>	路傍上手	多	北アメリカ
153	ペラペラヨメナ	キク科	<i>Erigeron karvinskianus</i>	荒地石垣	普通	中央アメリカ
154	ハルジオン	キク科	<i>Erigeron philadelphicus</i>	荒地	普通	北アメリカ
155	ヘラバヒメジョオン	キク科	<i>Stenactis strigosus</i>	上手	普通	北アメリカ
156	ハキダメギク	キク科	<i>Galinsoga ciliata</i>	路傍	普通	熱帯アメリカ
157	ウラジロチチコグサ	キク科	<i>Gnaphalium spicatum</i>	空き地	普通	南アメリカ
158	チチコグサモドキ	キク科	<i>Gnaphalium pennsylvanicum</i>	畑	多	北アメリカ
159	ウスベニチチコグサ	キク科	<i>Gnaphalium purpureum</i>	上手	普通	北アメリカ
160	フランスギク	キク科	<i>Chrysanthemum leucanthemum</i>	路側帯	普通	熱帯アメリカ
161	ノボロギク	キク科	<i>Senecio vulgaris</i>	路傍	普通	ヨーロッパ
162	セイタカアワダチソウ	キク科	<i>Solidago altissima</i>	荒地	普通	北アメリカ
163	メリケントキンソウ	キク科	<i>Solidago anthemifolia</i>	空き地	普通	南アメリカ
164	オミノゲシ	キク科	<i>Sonchus asper</i>	路傍	普通	ヨーロッパ
165	シオザキソウ	キク科	<i>Tagetes minuta</i>	路傍	少	熱帯アメリカ
166	アカミタンポポ	キク科	<i>Taraxacum laevigatum</i>	路傍	普通	ヨーロッパ
167	セイヨウタンポポ	キク科	<i>Taraxacum officinale</i>	路傍	普通	ヨーロッパ
168	オオオナモミ	キク科	<i>Xanthium occidentale</i>	荒地	普通	メキシコ
169	ウチワゼニクサ	セリ科	<i>Hydrocotyle verticillata</i>	溝	少	汎地球

調査記録（下線は帰化植物）

平成 24 年度調査

大入島東島大権現

1	24・8・5	大入島	林	スタジイ	10×20	陽強適	21	0
---	--------	-----	---	------	-------	-----	----	---

方形区 10×20 傾斜方向 N15W 角度32 標高60

壤土 中湿 自然林 海岸頂上 社叢

林冠 スタジイ 80% 62cm 20m (被植率・胸高直径・樹高)

亜高木モッコク 35 16

低木 タイミンタチバナ 4 4

高木 スタジイ 44 (優占度 被度)

亜高木 ヤブツバキ 33 モッコク 22

低木 タイミンタチバナ 34 ナツツタ +

ヒサカキ 12 マルバグミ +

クチナシ 22 トベラ 22

ハゼノキ 12 クロキ 23

イロハモミジ + ヤツデ +

イヌビワ 33 タブ +

草本 ノシラン 44 チジミザサ 22

フユツタ 23 ノブドウ +

ムベ + ツワブキ 22

2	24・9・1	宇目千束	路傍	チガヤ	1×2	陽強やや乾	12	1
---	--------	------	----	-----	-----	-------	----	---

チガヤ 44 チドメグサ 34

コゴメガヤツリ + ヘクソカズラ 33

テリミノイヌホオズキ + キツネノマゴ 22

ヨモギ 12 ツユクサ 12

スギナ + スベリヒユ 21

ハルノノゲシ + クワクサ 12

3	24・9・1	宇目千束	路傍	カラムシ	1×2	陽強適	9	0
---	--------	------	----	------	-----	-----	---	---

カラムシ 55 カキドウシ 23

ヘビイチゴ + イヌタデ +

ツユクサ	1 2	キツネノマゴ	2 2
メヒシバ	1 2	エノキグサ	2 2
ヘクソカズラ	1 2		

4	24・9. 1	宇目千束	田	コナギ	0.5×2	陽中湿	11	1
		コナギ	3 4	ミゾソバ	2 2			
		チョウジタデ	1 2	イボクサ	2 3			
		ホタルイ	1 2	ホシクサ	2 2			
		<u>アメリカタカサブロウ</u>	1 2	ミゾユキノシタ	1 2			
		タマガヤツリ	1 2	ケイヌビエ	1 2			
		アゼナ	+					

5	24・9. 1	宇目千束	畦道	ミジソバ	1×1	陽中湿	13	1
		ミゾソバ	3 4	キツネノマゴ	2 3			
		<u>アメリカタカサブロウ</u>	2 2	エノキグサ	1 2			
		イノコヅチ	2 2	スギナ	2 2			
		チドメグサ	2 3	キツネノボタン	+			
		シロバナサクラタデ	1 2	ツユクサ	2 2			
		ケイヌビエ	2 2	セリ	2 2			
		ゲンノショウコ	+					

6	24・10. 5	弥生切畑	路傍	メヒシバ	1.5×2	陽強適	11	3
		メヒシバ	4 4	キンエノコロ	3 3			
		カラムシ	1 2	ツメクサ	+			
		<u>コセンダングサ</u>	1 2	ノブドウ	2 2			
		クサキビ	2 3	<u>アサガオ</u>	+			
		ヨメナ	+	アキノノゲシ	+			
		<u>クワモドキ</u>	1 2					



7	24・10. 5	直川千股	路傍	カラムシ	2×2	陽中適	11	0
		カラムシ	4 5	ススキ	1 2			
		ヨモギ	2 2	スイバ	1 2			
		ヘクソカズラ	1 2	ツユクサ	+			
		キツネノマゴ	1 2	テイカカズラ	1 2			
		ノアズキ	1 2	ヤブカンゾウ	3 2			

クサイチゴ +

8	24・10. 5	直川千股	田畦道	ニワホコリ	2×3	陽中適	10	2
ニワホコリ		3 4		スベリヒユ		2 3		
スズメノトウガラシ		2 2		トキワハゼ		2 2		
ムラサキサギゴケ		2 2		<u>コニシキソウ</u>		1 2		
ハタガヤ		1 2		<u>アメリカタカサプロウ</u>		+		
ヒガンバナ		+		カタバミ		+		

9	24・10. 5	直川千股	荒地	オヒシバ	2×2	陽中適	19	5
オヒシバ		3 3		エノコログサ		1 2		
<u>オオニシキソウ</u>		1 2		シバ		3 3		
<u>コセンダングサ</u>		+		<u>シマスズメノヒエ</u>		1 2		
ヨメナ		1 2		キツネノマゴ		1 2		
コミカンソウ		+		コゴメガヤツリ		+		
ヤハズソウ		+		メヒシバ		2 2		
ネズミノオ		1 2		ニシキソウ		1 2		
カラムシ		2 2		ヒナタイノコズチ		+		
<u>オオアレチノギク</u>		+		ヨモギ		1 2		
<u>セイタカアワダチソウ</u>		2 2						

10	24・10. 5	本匠風戸	山道	カラムス	1×4	陽中適	16	3
カラムシ		3 4		キツネノマゴ		3 3		
ヨモギ		2 2		イヌタデ		1 2		
ツユクサ		+		コメヒシバ		2 2		
クワクサ		1 2		エノキグサ		+		
<u>オオイヌノフグリ</u>		+		<u>テリミノイヌホオズキ</u>		+		
メヒシバ		1 2		ドクダミ		2 3		
コブナグサ		+		ヘクソカズラ		+		
<u>ハカタツユクサ</u>		+		カテンソウ		+		

11	24・10. 5	弥生井崎	荒地	キンエノコロ	2×2	陽強適	17	6
キンエノコロ		4 4		<u>タチスズメノヒエ</u>		2 2		
<u>メリケンカルカヤ</u>		1 2		キツネノマゴ		2 3		
メヒシバ		2 2		スズメノヒエ		+		
<u>セイタカアワダチソウ</u>		1 2		<u>セイヨウタンポポ</u>		1 2		

スマレ	+	<u>シロツメクサ</u>	+
カスマグサ	+	カゼクサ	2 2
<u>シマスズメノヒエ</u>	1 2	コメヒシバ	1 2
チカラシバ	1 2	カタバミ	+
マルバツユクサ	+		

12	24・10・5	弥生井崎	休耕田	アキノエノコロ	5×5	陽強やや湿	20	5
----	---------	------	-----	---------	-----	-------	----	---

休耕田 5×5 陽中やや湿

アキノエノコログサ	3 4	<u>タチスズメノヒエ</u>	2 2
キンエノコロ	1 2	アキノノゲシ	1 2
チョウジタデ	+	<u>セイタカアワダチソウ</u>	3 3
マルバツユクサ	2 2	コゴメガヤツリ	2 2
<u>アメリカカタカサプロウ</u>	1 2	アオビユ	+
トキワハゼ	+	ヌカキビ	2 2
ツユクサ	1 2	カタバミ	2 2
<u>コセンダングサ</u>	+	コミカンソウ	+
キンエノコロ	1 2	<u>オオクサキビ</u>	+
イヌタデ	1 2	トウバナ	1 2

13	24・10・7	直川大津留	路傍	ウシハコベ	1×1	陽中適	11	2
----	---------	-------	----	-------	-----	-----	----	---

ウシハコベ	3 4	ネズミノオ	1 2
カキドウシ	3 3	ヨモギ	2 2
カナムグラ	2 2	<u>セイヨウタンポポ</u>	+
ツユクサ	+	<u>ヒメジョオン</u>	+
ササガヤ	1 2	スイバ	+
チカラシバ	1 2		

14	24・10・7	宇目三国峠	路傍	スギナ	2×2	中中適	18	2
----	---------	-------	----	-----	-----	-----	----	---

スギナ	4 4	<u>オオニシキソウ</u>	2 2
コゴメガヤツリ	2 2	ヨモギ	1 2
エノコログサ	+	スマレ	1 2
キツネアザミ	1 2	エノキグサ	2 2
ヒメクグ	1 2	コナスビ	2 2
イヌガラシ	1 2	スイバ	1 2
ニシキソウ	1 2	ヨメナ	2 2
カラムシ	+	<u>オオイヌノフグリ</u>	2 2

ヌカキビ + クワクサ +
 方形区外 シマスズメノヒエ、ハキダメギク

15	24・10・7	本匠檜峰	山道	ススキ	1×2	陽中適	16	1
ススキ	4	4		ネズミノオ		2	2	
キツネノマゴ	1	2		ササガヤ		3	3	
イタドリ	2	3		イヌタデ		1	2	
トウバナ	1	2		<u>ヒメジョオン</u>		+		
コメヒシバ	2	2		スミレ		+		
カキドウシ	2	3		チジミザサ		+		
ヘクソカズラ	1	2		ドクダミ		2	2	
キンエノコロ	1	2		カゼクサ		+		

コアカソ、オオバノイノモトソウ、タケニグサ

16	24・10・24	本匠檜峰	路傍	タチスズメノヒエ	1×2	陽中やや湿	17	5
<u>タチスズメノヒエ</u>	4	4		<u>クワモドキ</u>		2	2	
オヘビイチゴ	2	2		キンエノコロ		3	3	
オオバコ	3	4		スギナ		2	2	
<u>シロツメクサ</u>	2	2		ヘビイチゴ		3	3	
カラスノエンドウ	1	2		ヒメミカンソウ		2	2	
ギョウギシバ	2	2		ヒデリコ		1	2	
<u>シマスズメノヒエ</u>	2	2		イヌビエ		1	2	
カゼクサ	1	2		<u>コセンダングサ</u>		1	2	
ヒメクグ	1	2						



ヒメアザミ (帰化でない)



ノコンギク (帰化でない)

17	24, 8, 5	大入島石間	荒地	コセンダングサ	2×2	陽強やや乾	11	6
----	----------	-------	----	---------	-----	-------	----	---

調査面積2×2 陽 強 やや乾

<u>コセンダングサ</u>	4 4	<u>セイタカアワダチソウ</u>	3 4
<u>オオアレチノギク</u>	2 2	ヨモギ	2 3
メヒシバ	1 2	エノコログサ	2 2
<u>シマスズメノヒエ</u>	1 2	<u>アレチギシギシ</u>	+
ススキ	1 2	キカラスウリ	1 2
<u>コニシキソウ</u>	+		

18	24, 8, 5	大入島石間	荒地	コセンダングサ	2×2	陽強やや乾	7	3
----	----------	-------	----	---------	-----	-------	---	---

<u>コセンダングサ</u>	4 4	<u>シマスズメノヒエ</u>	2 2
<u>オオアレチノギク</u>	1 2	ヨモギ	3 4
マツバゼリ	+	ムラサキエノコロ	2 2
カモジグサ	2 2		

19	24, 8, 5	大入島日向泊	畑	ニシキソウ	1×2	陽強適	12	3
----	----------	--------	---	-------	-----	-----	----	---

ニシキソウ	4 4	コミカンソウ	3 3
マルバツユクサ	3 3	コゴメガヤツリ	+
メヒシバ	2 2	エノコログサ	2 2
<u>タカサゴユリ</u>	+	ススキ	1 2
アキニレ	+	<u>アカミタンポポ</u>	+
<u>チチコグサモドキ</u>	+	イヌタデ	+

20	24, 8, 5	大入島日向泊	荒地	コマツヨイグサ	2×2	陽強適	11	5
----	----------	--------	----	---------	-----	-----	----	---

<u>コマツヨイグサ</u>	4 5	<u>ハルシャギク</u>	2 2
<u>ヤナギハナガサ</u>	+	アカメガシワ	+
マルバツユクサ	1 2	ススキ	1 2
<u>オオアレチノギク</u>	+	カタバミ	+
ギシギシ	+	<u>セイタカアワダチソウ</u>	+
カモジグサ	+		

フロラ

コスズメガヤ、ハマアオスゲ、イノコヅチ、クワクサ、ツクシメナモミ、ハゼラン、クワ、カラムシ、マルバツユクサ、ヤマモガシ、ツクシキケマン、イタドリ、エノキ、ノビル、ママコノシリヌグイ

平成25年度植物調査

第1回総合調査

調査場所 佐伯市蒲江浦 屋形島

調査日時 平成25年6月29日(日)

植物班 真柴 茂彦 今井 勉

調査対象植物 屋形島の植物

地域の特徴的な植物



調査結果

フロラ調査(海岸 船着き場付近 標高 2m)

コマツヨイグサ、カモジグサ、ハマダイコン、オカヒジキ、シロザ、ツルナ、コセンダングサ、テリハノイバラ、セイタカアワダチソウ、ヤブジラミ、ハマオモト、スイカズラ、センダン、ダンチク、ヘクソカズラ、ヨモギ、タラ、ツルソバ、ハスノハカズラ、イヌビワ、アカメガシワ、ハゼノキ、カゴノキ、ヤツデ、クサキ、タイミンタチバナ、マサキ、イスノキ、カンコノキ、フウトウカズラ、オニヤブソテツ、オオイタビカズラ、ツワブキ、サダソウ、ノブドウ、ヒメムカシヨモギ、ダンドボロギク、チジミザサ、オオハンゲ、ネズミモチ、タケニグサ、ナガバヤブマオ、マダケ、シロダモ、クチナシ、ハマビワ、カエデドコロ、ススキ、ハチジョウキブシ、カラスザンショウ、ナワシログミ、クズ、ヌルデ、アキグミ(55種)

フロラ調査(キャンプ場跡地 標高 3m)

コマツヨイグサ、チガヤ、タマシダ、ハマエノコログサ、サフランモドキ、ハマダイコン、クサスギカズラ、ニシキソウ、タチスボスミレ、コウボウシバ、ヒルガオ、ヒメユズリハ、ハマナデシコ、ヤブニッケイ、ツユクサ、ベニバナボロギク、トキワススキ、ネコハギ、ナツフジ、ヤマグワ、クマノミズキ、タブノキ、イタドリ、カタバミ、ツボクサ、オニタビラコ、ハウロクイチゴ、ハマアオスゲ、キランソウ、オオイワヒトデ、コナスビ、ハコベ、ムラサキカタバミ、カラスザンショウ、ハドノキ、ノイバラ、ヤブマオ、ハダカホウズキ、スイバ、ハドノキ、メナモミ、トベラ、テイカカズラ、ハマウド、アゼナルコ、フユザンショウ、ママコノシリヌグイ、メタラ、



クマノミズキ、ノブドウ、ギシギシ、マサキ（52種）

2.1 屋形島 西海岸

標高 2m 調査面積：5m×5m 環境：日当たり…陽、風…強、土湿…やや乾燥
傾斜方向 N50°W

優占種	高さ m	胸高直径 cm
低木 ハマゴウ	1.2	3
草本 コマツヨイグサ	0.3	

低木 ハマゴウ (5.5)

草本 コマツヨイグサ (3.3)、ハマオモト (2.3)、ヤブジラミ (2.3)、カタバミ (1.2)、ススキ (1.2)、オニタビラコ (+)、カモジクサ (+)、ウマノチヤヒキ (+)、コナスビ (+) (9種) 帰化1



ネコノシタ (帰化でない)



アカウミガメの死骸
体長88cm×65cm
ただし、頭部なし

2.2 屋形島 テトラポット手前

標高 2m 調査面積：5m×5m 環境：日当たり…陽、風…強、土湿…乾燥
傾斜角度 3° 傾斜方向 N30°W

優占種	高さ m	胸高直径 cm
低木 ハマゴウ	0.6	0.7
草本 ハマオモト	0.5	

低 木 ハマゴウ (4.4)

草 本 ハマオモト (4.5)、コマツヨイグサ (3.3)、チガヤ (2.3)、ギョウキシバ (2.2)、ヘクソカズラ (1.2)、ハマイチヨウ (+) (6種) 帰化1

2 3 屋形島 テトラポット手前

標高 2m 調査面積：2m×2 環境：日当たり…陽、風…強、土湿…乾燥

傾斜角度 3° 傾斜方向 N

低 木 ハマゴウ (3.4)

草 本 ハマオモト (4.4)、コマツヨイグサ (1.2)、ハマボウフウ (1.2)

ハマイチヨウ (+) (4種) 帰化1

フロラ調査 (波止場付近 標高 3m)

マツバゼリ、タマシダ、オオムラサキ、ヤブニッケイ、トベラ、ハゼノキ、アカメガシワ、



ナワシログミ、クロマツ、ハマビワ、ダンチク、イヌムギ、ヨモギ、ムラサキカタバミ、カラムシ、ツルソバ、テリハノイバラ、オッタチカタバミ、カンコノキ、イヌビワ、ノブドウ、ギシギシ、タチスズメノヒエ、ノジギク、セイダカアワダチソウ、ヒメジオン、ハマダイコン、アキノノゲシ、ヤマグワ、ノシラン、ヤブツバキ、オニヤブソテツ、ヤブジラミ、ハドノキ、ハスノハカズラ、

フウトウカズラ、マツバゼリ、オヤブジラミ、ナツツタ、ツユクサ、コバノタツナミ (41種)

フロラ調査 (波止場 海岸 標高 2m)

ハマエンドウ、コオニユリ、ハマウド、ハマヒルガオ、ツルナ、ハマナデシコ、イタドリ、ハマウド、ハマオモト、オカヒジキ、カナムグラ、ハルノノゲシ、オオキンケイギク、タカサゴユリ、コスズメガヤ、エノキグサ、オオバコ、ヒメヨツバムグラ (18種)

2 4 屋形島 テトラポット手前海岸

標高 2m 調査面積：5m×5m 環境：日当たり…陽、風…強、土湿…乾燥

傾斜方向 N10°W

優占種	高さ m	胸高直径 cm
-----	------	---------

低 木 ハマゴウ	0.8	1
----------	-----	---

低木ハマゴウ (4, 5)

コマツヨイグサ (2, 3) ウマノチャヒキ (1, 2) ハマオモト (1, 2) ハマアオスゲ (1, 2)

チガヤ (+) ハマボウフウ (+) (6種) 帰化1

25 屋形島 テトラボット手前海岸

標高 2m 調査面積：2m×2m 環境：日当たり…陽、風…強、土湿…乾燥

傾斜方向 N

優占種	高さ m	胸高直径 cm
低 木 ハマゴウ	0.5	0.8
草 本 ハマオモト	0.7	

低 木 ハマゴウ (3, 4)

草 本 ハマオモト (4, 4)、コマツヨイグサ (1, 2)、ハマボウフウ (1, 2)

ハマイチヨウ (+) (4種) 帰化1

26 屋形島 地区路傍

標高 3m 調査面積：2m×2m 環境：日当たり…陽、風…強、土湿…乾燥

草 本 コマツヨイグサ (4, 5)、ムラサキカタバミ (2, 2)、オシロイバナ (1, 2)、カラムシ (1, 2)、ハマヒルガオ (1, 2)、カタバミ (+)、タカサゴユリ (+)、コニキシソウ (+) (8種) 帰化4

フロラ調査 (路傍 標高 3m)

クサスギカズラ、ヤブカンゾウ、ノミノツヅリ、オオアレチノギク、ハマナデシコ、コウボウ
ムギ、ヒメヨモギ、ハマボッス、ツワブキ、ギョウキシバ、

スイカズラ、カモジグサ、シロバナサクラタデ、キツネガヤ、ヒルサキツキミソウ、ヨウシュ
ヤマゴボウ、ハマスゲ、ジャノヒゲ、ヤマカモジグサ、トキワトラノオ、ヤクシソウ、ホウラ
イチク、ハゼラン、コミカンソウ、ムシトリナデシコ、トキワツユクサ、タイトゴメ (27種)

27 屋形島 地区前の浜の1

標高 2m 調査面積：5m×5m 環境：日当たり…陽、風…強、土湿…乾燥 (砂浜) 傾斜

角度 8° 傾斜方向 N20° E

草本 コウボウムギ (4.5)、コマツヨイグサ (3.3)、ハマヒルガオ (2.3)、ハマボウフウ (2.2)、ハマゴウ (+)、カモジクサ (+)、ハマダイコン (+) (7種) 帰化1

優占種	高さ m	胸高直径 cm
草本 コウボウムギ	0.2	

28 屋形島 地区前の浜の2

標高 2m 調査面積：5m×5m 環境：日当たり…陽、風…強、土湿…乾燥 (砂浜) 傾斜

角度 10° 傾斜方向 N20° E

草本 ヤブジラミ (3.4)、ノブドウ (3.3)、コウボウムギ (3.3)、コマツヨイグサ (2.3) ハマヒルガオ (2.3) ハマボウフウ (2.2)、カモジクサ (1.2)、ヘクソカズラ (+) (8種) 帰化1

優占種	高さ m	胸高直径 cm
草本 ヤブジラミ	0.5	

第2回総合調査

調査場所 佐伯市檜野

調査日時 平成25年11月24日 (日)

植物班 真柴 茂彦 今井 勉

調査対象植物 檜野の植物

地域の特徴的な植物

佐伯市檜野フロラ調査 檜野川 標高5m

メタケ、ホテイチク、マダケ、マユミ、クワ、エノキ、ヤマジソ、カゼクサ、ヨメナ、セリ、チドメグサ、クズ、ノイバラ、ススキ、アケビ、アレチハナガサ、ハスノハカズラ、アキニレ、ヤナギタデ、オオタチヤナギ、ガガイモ、カラムシ、アケビ、タコノアシ、マツカサススキ、ヤナギタデ、シラスゲ、キクモ、カラスウリ、ノブドウ (31種)

29	25・11・24	佐伯檜野	河川敷	オギ	2×2	陽中適	15	5
オギ			33		ギョウギシバ	34		
<u>セイタカアワダチソウ</u>			23		チカラシバ	22		

ヤハズソウ	2 2	<u>アレチハナガサ</u>	2 2
<u>タチスズメノヒエ</u>	1 2	ヨモギ	1 2
コメヒシバ	1 2	<u>クワモドキ</u>	+
<u>シマスズメノヒエ</u>	+	カラスノエンドウ	+
イヌガラシ	+	オオバコ	+
ヤブジラミ	+		

30	25・11・24	佐伯檜野	河川敷	カゼクサ	2×2	陽中適	15	1
----	----------	------	-----	------	-----	-----	----	---

カゼクサ	3 3	チダシバ	2 3
シバ	2 3	スイカズラ	2 2
ヤハズソウ	2 2	<u>セイタカアワダチソウ</u>	1 2
テイカカズラ	2 2	ヘクソカズラ	1 2
ネズミノオ	2 2		
コメヒシバ	1 2		
ヨモギ	+		
オギ	+		
キツネノマゴ	+		
ミゾソバ	+		
ガガイモ	+	(15種)	



31	25・11・24	佐伯檜野	河川敷	オギ	3×3	陽中やや乾	12	2
----	----------	------	-----	----	-----	-------	----	---

オギ (4.4)、ヨモギ (2.2)、ギシギシ (2.2)、テイカカズラ (2.2)、オオタチヤナギ (1.2)、セイタカアワダチソウ (1.2)、アレチハナガサ (1.2)、コバノウシノシッペイ (1.2)、ノイバラ (1.2)、ヒガンバナ (1.2)、シラスゲ (+)、メゾハギ (+) (12種)



タコノアシ (帰化ではない)



タチスズメノヒエ

フロラ調査 (佐伯市檜野川 標高 3m)

カラスウリ、メダケ、ハスノハカズラ、エノキ、アカメガシワ、アキニレ、ムクノキ、ガガイモ、ヤブガラシ、ツボクサ、ツルウメモドキ、マユミ、ヒトツバハギ、ヤマノイモ、アキニレ、ヘクソカズラ、オヘビイチゴ、スイバ、ノブドウ、アカネ、カゼクサ、オニウシノケグサ、ノチドメ、ツボスミレ、セリ、ヤマジソ、ビナンカズラ、オオオナモミ、フサモ、エビモ (30種)

フロラ調査 (佐伯市檜野川入口 標高 3m)

マコモ、ハンゲショウ、コウホネ、ジュズダマ、ヨメナ、ミゾソバ、アメリカセンダングサ、ツルヨシ (8種)

調査者 真柴茂彦

32	25・8・23	佐伯長瀬	空き地	メヒシバ	2×2	陽中適	9	1
----	---------	------	-----	------	-----	-----	---	---

メヒシバ	3 4
マルバツユクサ	2 2
イノコズチ	2 2
ギシギシ	1 2
カラスノエンドウ	1 2
エノコログサ	1 2
ギョウギシバ	1 2
ツルニガクサ	2 2
<u>ジュズダマ</u>	1 1



コスズメガヤ

特	25・8・23	佐伯長瀬	空き地	イノコズチ	2×2	陽中適	7	3
---	---------	------	-----	-------	-----	-----	---	---

イノコズチ	3 4	ヨモギ	2 2
チガヤ	2 2	<u>オオマツヨイグサ</u>	2 2
ノコンギク	2 2	<u>ヒメジョオン</u>	2 3
<u>マツバギク</u>	2 2		

33	25・8・23	佐伯長瀬	空き地	オオクワモド	2×2	陽中適	7	2
----	---------	------	-----	--------	-----	-----	---	---

<u>クワモドキ</u>	1 2	ヘクソカズラ	+
イタドリ	+		
カモジグサ	+		
キツネノマゴ	+		
<u>セイタカアワダチソウ</u>	1 2		

ノブドウ

+

34	25・8・23	佐伯長瀬	田	ミズユキノシタ	1×2	陽中湿	4	1
----	---------	------	---	---------	-----	-----	---	---

ミズユキノシタ	4 4
チョウジタデ	2 2
<u>ナガバヒメミソハギ</u>	1 2
ヒメミソハギ	2 2

35	25・8・25	佐伯高畠	路傍	エノコログサ	5×5	陽中適	17	4
----	---------	------	----	--------	-----	-----	----	---

エノコログサ	3 3
<u>コスズメガヤ</u>	3 4
コゴメガヤツリ	2 2
ハマスゲ	1 2
スベリヒユ	3 3
オヒシバ	1 2
イヌタデ	1 2



ナガバヒメミソハギ

コギシギシ	1 2
ヨモギ	1 2
マルバツユクサ	1 2
<u>アメリカタカサブロウ</u>	+
キカラスウリ	1 2
<u>ホナガイヌビユ</u>	+
スギナ	2 2
ザクロソウ	1 2
<u>オオニシキソウ</u>	+
ヒルガオ	+



ホナガイヌビユ

36	25・8・25	佐伯高畠	水路	マコモ	1×2	陽中湿	4	0
----	---------	------	----	-----	-----	-----	---	---

マコモ	4 4
ハンゲショウ	2 2
ミゾソバ	1 2
コウホネ	2 2

平成25年8月24日

37	25・8・24・	米水津浦代	路傍	カタバミ	2×2	陽中適	11	1
			カタバミ	4 4	オオバコ	3 3		
			ハスノハカズラ	2 2	ヘビイチゴ	2 3		
			ススキ	+	<u>コセンダングサ</u>	2 2		
			ノイバラ	1 2	ヨモギ	+		
			メヒシバ	+	コブナグサ	+		
			スイバ	+				

38	25・8・24・	米水津浦代	空き地	コセンダングサ	1×4	陽中適	8	3
			コセンダングサ	4 4	<u>セイタカアワダチソウ</u>	2 2		
			ハスノハカズラ	1 2	メヒシバ	2 2		
			<u>ホソバキンゴジカ</u>	4 4	ヨモギ	+		
			オヒシバ	+	ギシギシ	+		

39	25・9・9	佐伯青山	空き地	カヤツリグサ	2×2	陽中適	11	1
			カヤツリグサ	3 3				
			エノキグサ	2 3				
			ザクロソウ	4 4				
			コミカンソウ	1 2				
			スベリヒユ	1 2				
			ウリクサ	1 2				
			テンツキ	1 2				
			タマガヤツリ	+				
			<u>アメリカタカサブロウ</u>	+				
			オヒシバ	+				
			ニワホコリ	+				



アメリカタカサブロウ

40	25・9・9	佐伯青山	空き地	オオニシキソウ	2×2	陽強適	7	3
			オオニシキソウ	4 4				
			ヒメムカシヨモギ	2 2				
			<u>コセンダングサ</u>	1 2				
			コミカンソウ	2 2				
			<u>オッタチカタバミ</u>	+				
			エノキグサ	2 2				



ニシキソウ (帰化ではない) →

佐伯市青山黒沢 黒沢富尾神社の植物

ナギ 胸高直径58

アガタマノキ 37

スギ 2m

ヤノネグサ、センリョウ、フユイチゴ、マツカゼソウ、ハシカグサ、イヌシダ、ナチシダ、
イワガネゼンマイ、イシカグマ、ヤマミズ、トキワツユクサ、ナガバヤブマオ、オオバノイノモ
トソウ

41	25・9・20	佐伯西浜	砂浜	キンエノコロ	2×2	陽強適	7	3
----	---------	------	----	--------	-----	-----	---	---

キンエノコロ	34
イヌビエ	12
<u>オオニシキソウ</u>	33
コゴメガヤツリ	12
<u>コセンダングサ</u>	23
クグガヤツリ	+
<u>アレチハナガサ</u>	+



クワモドキ

42	25・9・20	佐伯西浜	砂浜	オカヒジキ	2×2	陽中適	6	1
----	---------	------	----	-------	-----	-----	---	---

オカヒジキ	44		
ハマダイコン	12	ツルナ	12
ホソバノハマアカザ	+	カナムグラ	+
<u>オオイヌタデ</u>	+		

西浜海岸 フロラ

アレチハナガサ、ツルマメ、ツルヨシ、イヌビエ、コセンダングサ、アメリカスズメノヒエ、ア
ゼガヤツリ、ヤハズソウ、ヒメジソ、クワモドキ、ギョウギシバ、スズメノトウガラシ、アメリ
カタカサブロウ、ハマスゲ、エノコログサ、シロザ、コマツヨイグサ、チガヤ、アキノノゲシ、
オオアレチノギク、コウボウシバ、セイタカアワダチソウ、ヒガンバナ、アカメガシワ、ヒメム
カシヨモギ、オギ、センニンソウ、ハマオモト、タカサブロウ、オニグルミ、アキグミ、モロコ
シソウ、アメリカスズメモヒエ、ハマエンドウ、イタチハギ、ママコノシリヌグイ、アレチマツ
ヨイグサ、ダンチク、ヨモギ、オオオナモミ、カナムグラ、アメリカセンダングサ、コスモス、
ヤナギタデ、イタドリ、ギシギシ、オニトコロ、ノブドウ、ジュズダマ、アツバキミガヨラン、
トウネズミモチ、エノキ、ナンキンハゼ、ノイバラ、ヘクソカズラ、マツバボタン、ネズミノオ、

アサガオ、エノキグサ、ウリクサ、チョウジタデ、スイバ、コミカンソウ、クサネム、スベリヒユ、ケイヌビエ、クワ

43	25・9・25	米水津色利	路傍	コセンダングサ	1×5	陽中適	11	4
----	---------	-------	----	---------	-----	-----	----	---

<u>コセンダングサ</u>	4 4
<u>ボタンクサギ</u>	2 2
イタドリ	3 3
ヨモギ	2 2
ツユクサ	1 2
<u>テリミノイヌホウズキ</u>	2 2
イヌタデ	+
カモジグサ	2 2
エノコグサ	1 2
<u>ヒメジョオン</u>	2 2
マルバツユクサ	1 2



ボタンクサギ

44	25・9・25	米水津宮野浦	荒地	セイタカアワダツソウ	2×2	陽強適	11	4
----	---------	--------	----	------------	-----	-----	----	---

<u>セイタカアワダチソウ</u>	4 4	<u>アレチハナガサ</u>	2 2
ツワブキ	+	ヘクソカズラ	1 2
ヨモギ	1 2	キカラスウリ	1 2
ノジギク	2 2	アキノノゲシ	+
メゾハギ	2 3	<u>カモガヤ</u>	+
<u>シナダレスズメガヤ</u>	3 4		

45	25・9・25	米水津宮野浦	荒地	ススキ	5×5	陽強適	12	6
----	---------	--------	----	-----	-----	-----	----	---

ススキ	2 2
ヨモギ	3 3
<u>タチスズメノヒエ</u>	2 2
<u>コセンダングサ</u>	2 2
エノコログサ	2 2
<u>カラスノエンドウ</u>	1 2
ニシキソウ	3 3
<u>セイタカアワダチソウ</u>	1 2
<u>ヒメジョオン</u>	1 2
<u>アレチハナガサ</u>	1 2
テリハノイバラ	1 2



メリケンカルカヤ

メヒシバ +

46	25・9・25	米水津宮野浦	海岸	ヨモギ	5×5	陽強適	10	3
ヨモギ			4 4	<u>セイタカアワダチソウ</u>			2 2	
ネズミノオ			2 2	<u>タチスズメノヒエ</u>			1 2	
カモジグサ			+	ツユクサ			1 2	
ススキ			1 2	<u>シナダレスズメガヤ</u>			2 2	
カタバミ			+	ヒメクグ			+	

47	25・9・25	米水津色利	空き地	メリケンカルカヤ	5×5	陽強適	15	7
----	---------	-------	-----	----------	-----	-----	----	---

ゲートボール場横

環境 日当たり陽 風当り強 土湿適 5×5m

<u>メリケンカルカヤ</u>	4 4	ヨモギ	3 4
<u>セイタカアワダチソウ</u>	2 2	コミカンソウ	2 3
<u>シマスズメノヒエ</u>	3 4	エノキグサ	+
ムラサキエノコロ	+	<u>シナダレスズメガヤ</u>	2 2
クグガヤツリ	1 2	<u>ヒメジョオン</u>	1 2
<u>オオキンケイギク</u>	2 2	クワクサ	1 2
<u>アカミタンポポ</u>	+	アキノノゲシ	+
ヤハウソウ	+		

15分の7 帰化率46%

平成26年度 佐伯市自然環境調査 植物

調査者	真柴茂彦	快晴					
48	26・4・15	佐伯青山伏木 路傍	ノミノツヅリ	1×2	陽強適	8	1

ノミノツヅリ	4 4	<u>オオイヌノフグリ</u>	2 3
ナズナ	5 5	オヘビイチゴ	1 2
スズメノエンドウ	1 2	チガヤ	1 2
スズメノカタビラ	+	カラスノエンドウ	+

49	26・4・15	佐伯青山	路傍	オランダミミナグサ	1×2	陽強適	13	4
----	---------	------	----	-----------	-----	-----	----	---

<u>オランダミミナグサ</u>	3 4	<u>オオイヌノフグリ</u>	2 2
<u>タチイヌノフグリ</u>	2 2	<u>アメリカフウロ</u>	1 2
カラスノエンドウ	1 2	キュウリグサ	1 2

カラムシ	+	ヤエムグラ	1 2
ヨメナ	+	チガヤ	2 3
カモジグサ	+	オオジシバリ	1 2
ノミノツズリ	1 2		

50	26・4・15	佐伯青山	畦道	ハハコグサ	0, 5×4	陽強適	15	2
				ハハコグサ				
				オヘビイチゴ		2 2		
				スギナ		+		
				カラスノエンドウ		2 2		
				セトガヤ		1 2		
				オオジシバリ		<u>オランダミミナグサ</u>	1 2	
				スズメノカタビラ		1 2		
				トキワハゼ		+		
				イヌガラシ		<u>オオイヌノフグリ</u>	1 2	

51	26・4・15	佐伯青山	路傍	ヨモギ	2×2	陽強適	19	3
				ヨモギ				
				スイバ		1 2		
				オヘビイチゴ		1 2		
				コバノボタンズル		<u>オランダミミナグサ</u>	2 2	
				カラスノエンドウ		1 2		
				<u>タチイヌノフグリ</u>		+		
				オオジシバリ		2 2		
				アオスゲ		+		
				<u>オオイヌノフグリ</u>		2 2		
				ミゾイチゴツナギ		+		
				チガヤ		2 3		

佐伯市蒲江葛原

No	5 2	調査年月日	2 6 年 5 月 2 4 日		調 査 者 名	真柴茂彦	
方形区	1 m×4 m	日当	陽				
場 所	海岸 路傍	土質	乾				
高 度	2 m	風当	強				
カモジグサ	3 4	<u>コセンダングサ</u>	1 2		ギョウギシバ	2 3	
イタドリ	2 2	カタバミ	1 2		ハマダイコン	2 2	
<u>ムラサキカタバミ</u>	2 2	カラスノエンドウ	1 2		ハルノノゲシ	+	

		出現種数 9 種 帰化 2

佐伯市蒲江葛原

No. 53	調査年月日	26年 5 月 24 日		調査者名	真柴茂彦
方形区	1 m × 4 m	日当	陽		
場所	海岸 路傍	土質	乾		
高度	2 m	風当	強		
カモジグサ	4 4	コセンダングサ	1 2	ギシギシ	+
イタドリ	3 4	ツユクサ	2 2	ハマダイコン	2 2
ムラサキカタバミ	2 2	ヤエムグラ	1 2	ノブドウ	+
				出現種数 9 種 帰化 2	

54	26・5・24	蒲江丸市尾	石浜	スズメノチャヒキ	2×2	陽強やや乾	7	4
		スズメノチャヒキ	4 4	アメリカフウロ	2 3			
		コセンダングサ	2 3	セイタカアワダチソウ	2 2			
		ススキ	2 2	ノジギク	+			
		アキニレ 幼	+					

55	26・5・24	蒲江丸市尾	石浜	スズメノチャヒキ	2×2	陽強乾	12	3
		スズメノチャヒキ	4 5	ヨモギ	2 2			
		ニワゼキショウ	2 2	オオバコ	+			
		ヤブジラミ	+	ヒメコバンソウ	+			
		メヒシバ	1 2	アキニレ 幼	+			
		コモチマンネングサ	+	ツメクサ	+			
		マツバゼリ	+	ヒメジョオン	+			

56	26・5・24	蒲江丸市尾	路傍	カモジグサ	2×2	陽強適	9	2
		カモジグサ	3 4	オッタチカタバミ	3 4			
		スイバ	2 2	ススキ	+			
		アメリカフウロ	+	カラスノエンドウ	1 2			
		ギョウギシバ	2 2	コナスビ	+			
		ハマスゲ	2 2	防風林 海岸側				

57	26・5・24	蒲江丸市尾	砂浜	チガヤ	2×2	陽強乾	4	1
----	---------	-------	----	-----	-----	-----	---	---

チガヤ	3 3	ハマヒルガオ	4 4
コマツヨイグサ	2 2	カモジグサ	+

58	26・5・25	本匠番の原	山道	トウバナ	0.5×4	中陰弱適	9	0
トウバナ	3 3	ゲンノショウコ	2 3					
オオバコ	3 4	チジミザサ	1 2					
ヘビイチゴ	3 3	ヘビイチゴ	3 3					
マスクサ	1 2	コモチマンネングサ	+					
マルバコンロンソウ	1 2							

佐伯市大入島高松（大入島北トンネル出口の海岸道路沿い）

No. 59	調査年月日	2014年8月30日		調 査 者 名	真柴 茂彦
方形区	2m×2m	日当	陽		今井 勉
場 所	路傍	土質	適		
高 度	3m	風当	強		
マルバツユクサ (3・3)	メヒシバ (2・3)	ヨモギ (+)			
ザクロソウ (3・3)	オヒシバ (1・2)	ヒメジョオン (+)			
コミカンソウ (3・3)	コセンダングサ (1・2)	オオイヌノフグリ (+)			
アメリカタカサブロウ (+)	ハルノノゲシ (+)				
					出現種数 11種 帰化4

佐伯市大入島高松（大入島北トンネル出口の海岸道路沿いより山側）

No. 60	調査年月日	2014年8月30日		調 査 者 名	真柴 茂彦
方形区	2m×2m	日当	陽		今井 勉
場 所	路傍	土質	適		
高 度	3m	風当	強		
コセンダングサ (4・4)	コミカンソウ (2・2)	クズ (1・1)			
マルバツユクサ (3・3)	オオニシキソウ (2・2)	メヒシバ (+)			
クワクサ (2・3)	コマツヨイグサ (1・2)	オオアレチノギク (+)			
ハルノノゲシ (+)					
					※付近にキヌガサギクあり
					出現種数10種 帰化4

佐伯市大入島高松（大入島北トンネル出口の海岸道路沿いより山側）

No. 61	調査年月日	2014年8月30日		調査者名	真柴 茂彦
方形区	5m×5m	日当	陽		今井 勉
場所	畑	土質	適		
高度	4m	風当	強		
アメリカタカサブロウ (4・4)		キツネノマゴ (+)		アカメガシワ (幼木 H=40cm) (+)	
コミカンソウ (3・3)		コモチマンネングサ (+)		マルバツユクサ (2・2)	
ウリクサ (3・3)		ツクシミナモミ (+)		コセンダングサ (1・2)	
コマツヨイグサ (2・2)		コゴメガヤツリ (+)			
オオニシキソウ (1・2)		ハナイバナ (+)		エノコログサ (+)	
ホナガイヌビエ (+)					
				出現種数15種 帰化4	

佐伯市大入島高松（入口道路沿い）

No. 62	調査年月日	2014年8月30日		調査者名	真柴 茂彦
方形区	2m×4m	日当	陽		今井 勉
場所	路傍 (花壇の跡地)	土質	適		
高度	3m	風当	強		
ヨモギ (3・4)		カタバミ (1・2)		アカメガシワ (幼木 H=40cm) (+)	
ツユクサ (3・3)		アキノエノコログサ (+)		ツワブキ (1・2)	
ヘクソカズラ (3・3)		コセンダングサ (+)		エノキグサ (1・2)	
カラムシ (2・3)		カラスノゴマ (+)		ツルソバ (1・2)	
ハマヒルガオ (2・3)		セイタカアワダチソウ (+)		キヌガサギク (+)	
ヒメジョオン (2・2)		シマスズメノヒエ (+)		シソ (+)	
ヤブガラシ (2・2)		ガザニア (+)			
センダングサ (1・2)		マリーゴールド (+)			
				※花壇のへりにアジサイ、ツワブキあり	
				出現種数22種 帰化7	

佐伯市大入島高松（入口道路沿い）

No. 63	調査年月日	2014年8月30日		調	真柴 茂彦
--------	-------	------------	--	---	-------

方形区	2m×4m	日当	陽	査 者 名	今井 勉
場 所	路傍	土質	適		
高 度	3m	風当	中		
マルバツユクサ	(4・5)	クサキ (幼木 H=30cm)	(+)	ツルソバ	(+)
メヒシバ	(2・3)	コセンダングサ	(+)	イノコヅチ	(+)
コミカンソウ	(1・2)	ハルノノゲシ	(+)	アサガオ	(+)
				出現種数	9種 帰化2

佐伯市大入島久保浦 (食彩館横公園)

No. 64	調査年月日	2014年8月30日		調 査 者 名	真柴 茂彦
方形区	2m×2m	日当	陽		今井 勉
場 所	空き地の周辺	土質	やや乾		
高 度	4m	風当	中		
チガヤ	(4・4)	アキニレ (幼木 h=5cm)		クズ	(+)
ヤハズソウ	(3・3)	ヒメジョオン	(1・2)	ヒメギキョウソウ	(+)
ヒメフタバムグラ?	(1・2)	ハナイバナ	(+)	ハマハナヤスリ	(+)
チチコグサ	(1・2)				
				出現種数	10種 帰化2

佐伯市大入島久保浦 (旧道道路沿い)

No. 65	調査年月日	2014年8月30日		調 査 者 名	真柴 茂彦
方形区	1m×4m	日当	陽		今井 勉
場 所	路傍	土質	やや乾		
高 度	5m	風当	強		
チガヤ	(4・5)	アキニレ (幼木 h=5cm)		コセンダングサ	(+)
ヤハズソウ	(1・2)	ヒメムカシヨモギ	(+)	タチスズメノヒエ	(+)
セイタカアワダチソウ (+)		エノコログサ	(+)	オオニガナ	(+)
ヨモギ	(+)				
				出現種数	10種 帰化4

佐伯市大入島久保浦 (旧道道路沿い)

No. 66	調査年月日	2014年8月30日		調	真柴 茂彦
--------	-------	------------	--	---	-------

方形区	3m×4m	日当	陽	査者名	今井 勉
場所	路傍	土質	適		
高度	5m	風当	中		
カラムシ	(3・4)	エノキグサ	(+)	ヤマノイモ	(+)
オシロイバナ	(3・3)	ツユクサ	(+)	キカラスウリ	(+)
コセンダングサ	(2・2)	コミカンソウ	(+)	クズ	(+)
カラスウリ	(1・2)	イヌタデ	(+)	キツネノマゴ	(+)
ヨモギ	(1・2)	ヘクソカズラ	(+)		
イタドリ	(1・2)	チガヤ	(1・2)		
		※イノシシの掘った跡あり		出現種数16種 帰化2	

佐伯市大入島久保浦（大入島中学校グラウンドの端）

No. 67	調査年月日	2014年8月30日		調査者名	真柴 茂彦
方形区	2m×2m	日当	陽		今井 勉
場所	空き地(大入島中G)	土質	適		
高度	5m	風当	強		
ヤハズソウ	(4・4)	タチスズメノヒエ	(2・2)	キングジカ	(1・2)
ヒメクグ	(2・3)	チガヤ	(2・2)	ヤマジソ	(+)
クロテンツキ	(2・2)	シマスズメノヒエ	(1・2)	ヒメミカンソウ	(+)
				出現種数9種 帰化3	

佐伯市大入島石間区（フェリー乗り場上畑道）

No. 68	調査年月日	2014年8月30日		調査者名	真柴 茂彦
方形区	2m×2m	日当	陽		今井 勉
場所	山道	土質	適		
高度	25m	風当	中		
ジャノヒゲ	(3・3)	メヒシバ	(+)	カラスウリ	(1・2)
ツボクサ	(2・3)	オヒシバ	(+)	イタドリ	(1・2)
ヤブマメ	(2・2)	イヌホオズキ	(+)	キツネノマゴ	(+)
ササガヤ	(2・2)	マルバツユクサ	(+)	イノコズチ	(+)
ヘクソカズラ	(1・2)	スギナ	(+)		

		※付近にミカン畑あり
		出現種数 14種 帰化0

佐伯市大入島石間区 (フェリー乗り場付近道路沿い)

No. 69	調査年月日	2014年8月30日		調査者名	真柴 茂彦
方形区	1m×4m	日当	陽		今井 勉
場所	路傍	土質	やや乾		
高度	3m	風当	強		
ヨモギ	(3・4)	クワ (h=70cm)	(1・2)	ヘクソカズラ	(+)
セイタカアワダチソウ	(3・3)	エノキ (h=20cm)	(+)	チジミザサ	(+)
ホシダ	(2・3)	アキニレ (h=20cm)	(+)	テイカカズラ	(1・2)
ナツツタ	(1・2)	コセンダングサ	(+)	センニンソウ	(+)
					出現種数12種 帰化2

佐伯市大入島石間区 (フェリー乗り場付近道路沿い)

No. 70	調査年月日	2014年8月30日		調査者名	真柴 茂彦
方形区	1m×6m	日当	陽		今井 勉
場所	路傍	土質	適		
高度	3m	風当	強		
セイタカアワダチソウ	(3・4)	ツユクサ	(+)	アキニレ (h=60cm)	(2・3)
イタドリ	(3・3)	センニンソウ	(+)	クワ (h=100cm)	(1・2)
ヨモギ	(3・3)	コセンダングサ	(+)	アオツツラフジ	(+)
スギナ	(2・2)	ナツフジ	(+)	ススキ	(+)
ドクダミソウ	(2・2)	ハスノハカズラ	(+)		
テイカカズラ	(1・2)				
					出現種数15種 帰化2

佐伯市大入島石間区 (大入島小学校付近の道路沿い)

No. 71	調査年月日	2014年8月30日		調査者名	真柴 茂彦
方形区	2m×4m	日当	陽		今井 勉
場所	路傍	土質	適		
高度	3m	風当	強		

オシロイバナ	(3・4)	ツルソバ	(+)	シマスズメノヒエ	(1・2)
コセンダングサ	(3・3)	コマツナギ	(+)	イヌクグ	(1・2)
ツユクサ	(2・3)	ナツフジ	(+)	マルバツユクサ	(+)
ヨモギ	(2・2)	コスズメガヤ	(+)	ハルノノゲシ	(+)
カタバミ	(1・2)	エノキグサ	(+)	メヒシバ	(1・2)
クワクサ	(1・2)				
				出現種数	16種 帰化4

佐伯市鶴見島江海岸道路沿い (No.15ハマビワ林付近)

No. 72	調査年月日	2014年9月18日		調査者名	真柴 茂彦
方形区	2m×1m	日当	陽		今井 勉
場所	路傍	土質	適		
高度	3m	風当	中		
コセンダングサ	(3・4)	チヂミザサ	(2・2)	ヘクソカズラ	(+)
オッタチカタバミ	(3・4)	イヌガヤ	(1・2)	ツルソバ	(+)
ツユクサ	(2・2)	ヨモギ	(1・2)	ホシアサガオ	(+)
マルバツユクサ	(2・2)	オシロイバナ	(1・2)		
				出現種数	11種 帰化4

帰化植物



コマツヨイグサ



トキワツユクサ



ヒメマツバボタン



ユウゲシヨウ



アメリカセンダングサ



ナガミヒナゲシ



オオケタデ



ニワゼキショウ



タカサゴユリ



ウماغヤシ



キンギンナスビ



ウサギアオイ



オランダフウロ



シロツメクサ



オオニシキソウ



オオイヌノフグリ



セイヨウミヤコグサ



オオオナモミ



セイトカアワダチソウ



ヒメオウギスイセン



メリケントキンソウ



ウラジロチチコグサ



コメツブツメクサ



ホテニアオイ



ハナカタバミ



サフランモドキ



ツボミオオバコ



ベニバナボロギク



ムラサキカタバミ



ホソバキンゴジカ



ゲンゲ



アレチハナガサ



ヘラオオバコ



オオニワゼキショウ



ザクロソウ



ヒナキョウソウ



ナガエコミカンソウ



ダンロボロギク



ザボンソウ



メリケンムグラ



コメツブツメクサ



ハイマンネングサ



オランダミミナグサ



ヘラバヒメジョオン



ハルノノゲシ (史前帰化)



ヨウシュヤマゴボウ



ジュズダマ



フラサバソウ



ヒルザキツキミソウ



コモチマンネングサ (史前帰化)



マンテマ



キツネアザミ (史前帰化)

おわりに

人類文化地帯といわれる田畑や路傍などは私たちの身近で親しみの多い植物が多く見られる。ここはまた外来種の侵入を可能にする条件がそろっている。一口で言えば、自然が壊れ、自然の持つ自浄能力が弱ったところである。

多くの侵入植物が見られるし、中には同じ仲間の日本の種類にとって脅威になりつつある種類もあった。

本匠の中学校にいたとき、遠足で子どもたちとオナモミの種子を投げあつて、相手の服につける遊びをしたことを思い出す。本匠で撮った植物の写真にオナモミが大写しになったものがある。

ところが、現在オナモミにはなかなかお目にかかれない代わりに、オオオナモミといわれる種子を沢山つけた種類がどこにでも殖えている。

中には、オナモミの性質を持っているようなオオオナモミにも出会う。もしかしたらオナモミとの間に雑種をつくり、より日本の風土に適応したものになってきたのではないかと疑われるものもあり、純粹のオナモミにはもうしばらく会っていない。

気がつかない間に外国産の植物によって身近な自然が占拠されるのではないか。そんな思いで今回の調査を終えるが、次々に入ってくる新しい帰化植物に今後も注意し続けることになるだろう。

環境対策課の担当の方には総合調査に同行していただきご協力いただいた。感謝申し上げます。